



教員の働き方改革は進んでいるか

教育長／業務の役割分担・適正化を実行



あべ さだみつ 議員
阿部 貞光

議員 教員の多忙化や長時間労働などが課題とされているが内容は。

教育長 日々の教育活動に加え国が進めるGIGAスクール構想への対応や各種調査の取りまとめなど、業務が多岐にわたっている。

議員 働き方改革取組方針の進捗状況と教育委員会が行ってきた支援を聞く。

教育長 学校支援システムを導入し出席簿・通信票などをデジタル化や押印の廃止、メールを活用した簡易な報告など業務の軽減を図っている。また、部活動は外部指導者の配置やスポーツ少年団などの活動は公務外である事を明確に位置付け、部活動顧問の負担軽減を図っている。さらに、定



子どもたちと触れ合う時間適切か

時退庁日や夏季休業日に3日間の一斉閉庁日を設けるなど教職員の働き方に対する意識の醸成を図っている。支援として少人数学級の推進や学校補助員、ALTの配置を行う支援や公務のICT化などの環境整備をおこなっている。

議員 教員と連携し役割を果たす支援スタッフの配置基準と配置状況、予算措置を聞く。

教育長 宮城県が令和2年度・3年度に若柳に2人配置し、令和4年度以降は配置されていない。市教育委員会ですべて必要な生徒の学習面・生活面の支援を目的に学校補助員を小学校12校に34人、中学校7校に12人、合計46人配置している。配置基準は翌年度に必要なスタッフを各学校の状況を調査し、配置する職種および人員を決定している。予算は合計で約9232万円となっている。

遊休農地、荒廃農地を活用せよ

市長／農地の維持管理の仕組み検討



すがわら まき 議員
菅原 麻紀



持続可能な農業を考えるとき

議員 遊休農地や荒廃農地をどのように活動しているのは理解するが、稲作以外の畑作で、企業誘致を考えているのか。例えば、学校給食で使う食材を買い上げる前提で作る人を募集しているか。

市長 企業としての農業は稲作などで取り組まれている。学校給食は食材を安定的に提供することが大事であり、小規模でもしっかりと生産できる体制を作る農業があってもいいかなと思う。

女性消防団の役割を明確に

議員 女性消防団の活動において課題が存在し、意見交換や情報共有が必要と考

えるが、栗原市全体で统一的な活動することは可能か。また幼稚園、小学校、中学校に広報活動することは可能か。

市長 意見交換会は3月にあって、内容については各総合支所に議事録を送付し、各地区消防団幹部会議にて説明をして改めて周知を図ることとしている。

広報活動についてはこれまで消防団が市内中学校の防災訓練に関わった実績もある。機会を増やすよう関係機関と協議し防災意識の向上を図っていく。

他に若柳病院の混雑についてと若年層に対する議員や議会政治に関する教育について質問した。



佐藤 千昭 議員



きょうあい 狭隘で急カーブ、危険な浅布地内

市長／引き続き早期整備に取り組む



改良が進まない398号浅布地内

議員 国道398号花山地
区の浅布地内の約1000
坪の区間は狭隘で大変危険
な道である。また、ダム周
辺地内は、急カーブで、上
層木が道路を覆い、立木で
トンネル状態の場所もあり、
冬の凍結期間が長い。地区
民の通勤、通学路である。
国、県への要望を聞きたい。

市長 浅布の狭隘な区間の
拡幅は「引き続き早期整備
に取り組む」との回答を得
ている。ダム周辺の道路支
障木は数年前伐採をしてい
るが、適切な維持管理に努
めていく。除雪は作業効率
の良い除雪機械で除雪を行
う。通行の安全・万全を期
すよう要望していく。

議員 国や県に強力に要望
することを願いたい。
市長 土木事務所を通して
しっかりと要望していく。

議員 中学生の青空大使派
遣事業を中止しているが、
再開すべきである。
市長 令和6年度当初予算
に計上、6年度に派遣した
い。派遣先は友好姉妹都市
台湾南投市を検討している。

AIで婚活 PRと支援を

議員 AIを活用した、み
やぎ結婚支援センター「み
やマリ」が開設された。市
でも加入促進を図るため入
会者に助成をしている。入
会に向けてPRをすべき。

市長 婚活事業は継続的に
取り組む必要があり、周知
が足りないと思っている。
さらなる周知を図ってまい
りたい。



志波姫幼稚園の駐車場整備

市長／防犯灯などの安全対策を実施



相馬 勝義 議員



子ども達の安全が第一

議員 幼稚園、保育所共用
の駐車場として、整備が必
要とされているがどうか。
市長 要望書も提出され、
話し合いもされているが、
歩道の拡幅や防犯灯の設置
を行い、安全対策を行う。

議員 施設の修繕、機器の
管理のうえでも危険な状況
で方針を継続、検討してい
く。
市長 第8次地域医療計画
で方針を継続、検討してい
く。
議員 飼料の高騰に頭を抱
えている現状への考えは。
市長 緊急支援事業による
対策を実施している。今後
国、県の補正予算や支援制

議員 萩野診療所の
その後の対策
議員 施設の修繕、機器の
管理のうえでも危険な状況
で方針を継続、検討してい
く。
市長 第8次地域医療計画
で方針を継続、検討してい
く。

議員 結婚の取り組みを
実施していくなかで、ネット
の安心、安全な活用を支
援など前向きな活動は。
市長 県ではAIを活用し
たマッチングシステムを導
入し「みやマリ」を開設。
市でも利用促進を図る助成
を実施。また、栗原、登米、
一関、平泉の合同事業とし
ての婚活を今年も実施予定。

地域づくりに 若者達の声を

議員 全国から来ている能
開大の優秀な生徒達と市内
の企業人や市職員の交流の
場を設けてはどうか。
市長 若者達や学生を対象
とした意見交換は大切であ
る。各種計画策定の機会を
捉え意見交換の場を設けた
い。



※みやマリー宮城県で結婚を希望する独身男女を支援するため、AIを活用したマッチングシステムのこと。



人事院勧告の完全実施を求める

市長／法律の改正を踏まえ実施する



市長 佐藤 悟 議員

議員 令和4年度人事院勧告は、行政職で平均0・96%、3869円、期末手当0・1か月増の4・5か月分の勧告をおこなった。初



市民の幸せのために全力投球を

任給は、高卒1万2000円、大卒1万1000円増しとし、さらに在宅勤務手当を新設し、月10日超えて月額3000円とした。
 ①人事院勧告の基本認識・完全実施を求めるがどうか
 ②会計年度任用職員に対し、人事院勧告に準じて支給すべきである。
 ③市のラスパイレース指数は

市長 東京電力や国は、放射性物質の測定や、海洋モニタリング調査による状況を公表するなど、風評対策に取り組んでいる。国の責任の下、水産業、各産業への風評対策を早急に講じる必要がある。

処理水放出 深刻な影響

議員 トリチウム処理水134万トンのうち、1日460トンを出した。中国・香港・台湾など7か国が水産物の輸入禁止をおこなった。風評被害など市民生活に深刻な影響を与える。どう受け止めているか。

引き上げるべきである。
市長 ①国公準拠を基本とし、法律の改正が行われた場合は、国に準じて実施する。
 ②一般職の職員と同様の改定を予定している。
 ③94・3であり、仙台市を除く県内市13市中、10番目である。改善を検討する。

キャンプ場計画、愛好者の声を

市長／10月にモニターキャンプを計画



議員 高橋 勝男



栗駒キャンプ場建設予定土地

議員 令和7年度オープン予定の栗駒キャンプ場は、
市長 今年度予定の基本計画は、専門家や地元愛好者などの意見を踏まえ検討するので遅れる見込みで、キャンプ場はテントが張れるリーススペースやキャンプングカーなどが利用できる施設を考えている。
議員 市内のキャンプ愛好者やキャンピングカー所有者との連携が必要と思うが、
市長 市内のキャンプ愛好

者やキャンピングカー所有者からの意見は重要である。整備予定地の栗駒耕英の山脈ハウスで、キャンプ愛好者、キャンピングカーユーザーに向けたモニターキャンプを10月に計画している。
議員 現在ある温泉施設やトイレ、駐車場を活用し、キャンピングカー、RV車を対象にした施設の先行オープンをさせるべきでは。
市長 比較的安価な初期投資で可能と考えるので、モニターキャンプの参加者や日本RV協会からの意見を含め検討する。
議員 栗原市全国大会等参加補助金は、予選を経て全国や東北大会に参加する児童生徒を中心に参加費と宿泊費、交通費を補助する制度であるが、負けた日の宿泊費は補助対象外になっている。当日キャンセル扱いで、全額個人負担になっているが、負けた日も補助対象にすべきである。
教育長 前泊が必要な場合などは補助の対象にしているので当日中に帰宅が困難な場合には、競技終了日の宿泊も補助対象にするよう検討する。



さとう ひさよし 市長 久義 議員



建物の改善命令に所有者の対応は 市長／行政代執行に基づき手続きを行う



岩ヶ崎中心部の荒廃した建物

議員 岩ヶ崎地区にある建物が荒れ放題になっている。令和4年12月議会で空き家対策の件を質問しているが、多くの市民から一日でも早く対策を取るよう強い要望がある。栗原市では、所有者に令和5年8月15日の期限をつけて強制力のある改善命令を出しているが、所有者が守っていないのはなぜか。

市長 市では度重なる改善命令を出しているが、所有者は、資金がなく改善が出来ない返答である。今後、

市では行政代執行法に基づいて手続きを行う。

議員 行政代執行の時期はいつか。解体費用の捻出はどこからか。

市長 本年度に解体設計を行い、令和6年7月中旬に着手する。解体費用は、建物所有者に全額請求する。

悪臭水路を早期に改善せよ

議員 岩ヶ崎八日町裏通りの排水路が悪臭で市民から苦情が多くある。悪臭の原因は、先人が設計した水路を変更したためであり、早期に元の水路に戻すべきである。

市長 現況の排水ルートなどを確認し対策を検討する。支障木については、所有者と早期に相談して対応する。

旧くりでん軌道敷の管理は

議員 くりでん敷地内の除草処理とレールの売り払いは考えないか。

市長 駅跡や住宅周辺を除草は、必要に応じて行う。レールの売り払いは、撤去費用が売却金額より高いため売却は考えない。



避難ノートを作成しては

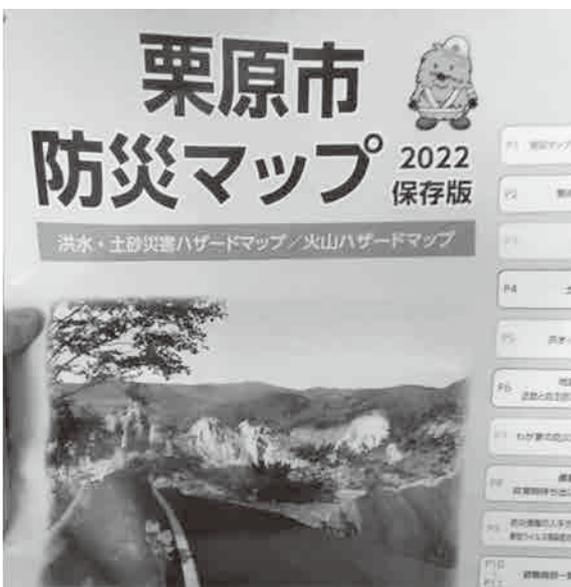
市長／防災マップなどに網羅している



みうら よしひろ 議員 三浦 善浩

議員 今年も全国の各地で災害が発生している。残念ではあるが、自然災害を防ぐことは非常に難しい。常日頃から、家族や地域などで話し合いを持つことで少しでも被害を減らしていく

市長 ①地域においては、ことが重要と考える。①家族や地域などで災害についての話し合いを持つ機会は、どの程度おこなわれているか。その現状はどうなのか。②災害時に取るべき行動や、必要な備蓄品、災害時の避難場所や連絡手段など家族で相談して記入したりする(仮称)くりはら避難ノートを作成して配布する事業を導入してはどうか。



栗原市防災マップ2022保存版

自主防災組織を中心とした防災訓練、移動市民セミナーなどを活用した研修や地域の防災マップ作成などを通じて、地域防災についての話し合いを持つ機会が生まれ、防災意識の向上が図られている。また、家庭においては、令和3年4月に每户配布した栗原市防災マップ2022保存版や、毎年大雨や台風に備えた防災に関する每户チラシの活用により、防災意識の浸透が図られていると考える。

②防災マップは、ちよっと大きいのが、情報を網羅するために現在の姿にしている。例えば、防災に関する每户チラシの裏面に記載するとかも、一つの方法だと思っので意見として参考にさせていただく。

他に、◎どうなった、地域通貨事業。◎どうする人口減少対策。◎地域行事の継続、継承は、についての質問をした。



市の体育施設への冷房設置を求む

市長／年次計画を立てて冷房を設置する



ひろし 議員
きくち 菊地

が年次計画を立てて設置すべきと考えている。また各自治会の集会所にも、来年度新規事業として冷房装置の設置補助事業を検討中である。

議員 第3期栗原市スポーツ推進計画では、市民の意見を基に課題解決に向けて取り組むとあるが、早急に体育施設の冷房設備の充実を図らなければならないと思うが。

議員 市内の公民館や公共施設、観光地では公衆無線LANが使えない。公民館でパソコン教室を開いてもWiFiが使えず苦労しているとの事だ。また観光客からも栗原市では公衆無線LANが無いので、電波



冷房導入が待たれるアスパル若柳

が入りづらい場所では苦勞するとの話もある。設置すれば市民の利便性も上がり、観光客も喜ぶと思うのだが。

市長 栗原市のDX推進計画を策定している。現時点ではまだ入っていないが、公共無線WiFiの設置予定を組み込み、公共施設や観光地で無料WiFiが使えるよう具体的に積算し、出来れば来年度当初あたりから随時設置していく。

議員 伊豆沼や内沼の環境保全に努めていると聞くが、不法投棄などの通報や相談などはこれまでにあったか。

市長 不法投棄は廃棄物を投棄する事で全く駄目だとの認識である。市に通報があった場合は、担当職員が現場確認を行い、投棄の現状に関しては、罰則規定もあるので警察にも通報している。

その他、市民満足度重視のサービス、ドライブレコーダーの設置状況を質した。

地の利を活かし「道の駅」設置を

市長／効果を見極め検討



いしかわ しょうじゅん 議員
石川 正運



交通の要所に3つ目のインターが

エンジン完成後、通行量や移動の目的などを調査し、その効果を見極めて規模や機能を検討すべきと考えている。

大丈夫か湖沼の環境とハスは

議員 伊豆沼・内沼の水質は4年連続でワーストワンという状況である。水質向上は、汚泥の撤去をしゅんせつで行うことが最大の解決策と思うがどうか。

市長 湖底の汚泥対策のしゅんせつは、水質や生態系への改善効果が期待できないばかりか逆に悪化させる可能性があると考えられている。県や伊豆沼・内沼環境財団などと協議をし、自然再生を推進していける体制を作っていく。

議員 栗原は、高速交通体系の最も恵まれた地域の良さを最大限に活用し、経済の活性化に継ぐことが極めて重要である。「仮称」栗原インターチェンジが建設される付近に道の駅を設置することで、交流人口が増え、賑わいのあるまちづくりを望むがどうか。

市長 道の駅設置は、4号バイパス、栗原インターチ

今後、ハスを含めた水生植物の適正管理を目指していく。



佐々木 嘉郎 議員



もっと頑張れ ふるさと納税

市長／ふるさと納税推進監を配置した



栗原市への寄付のお願い

議員 全国からいただいた寄付の状況はどうだ。

市長 令和4年度は、3676件で、8543万円。

議員 昨年、最も寄付を集めたのは、宮崎県都城市196億円、2位北海道紋別市194億円、3位が北海道根室市176億円。他の自治体も多くの寄付金をいただいている。栗原の返礼品には魅力がないのか。

市長 返礼品の種類が少なく感じている。今年度か

ら、ふるさと納税推進監を配置して掘り起しに力を入れていく。

議員 これまで危機意識はなかったのか。

市長 他の自治体は、10億円単位だったため、危機感を持ち推進監を配置した。返礼品の発信力に欠けていたと感じている。

議員 湯浜温泉、温湯温泉、佐藤旅館、ハイルザーム栗駒、くりこま荘は栗駒山麓の温泉としてペア宿泊券を返礼品に加えてはどうか。

市長 宿泊券の返礼品は、広報くりはらや、市の公式ウェブサイトでも周知している。

議員 瀬峰飛行場からヘリでのフライトは素晴らしい返礼品になるはずでは。

市長 非常に魅力的である。実現に向け、協議を進める。

議員 市内の座主・花法・白鷺・遊翠・鶴城などの窯元で作られる器は魅力的な返礼品になる。声掛けをしてみてはどうか。

市長 素晴らしい作品である。協力を依頼してみる。他に地域おこし協力隊、マイナンバーカードについて質問した。

議員 キャンプ場をつくる目的は、市民の社会教育活動の推進のためか、市外から利用者を呼び込んで経済効果を期待するためか。また、市内にある既存のキャンプ場の充実ではなく栗駒



山脈ハウス下のZ模様が予定地



小野 久一 市長



「栗駒キャンプ場」どう運営する

市長／指定管理料のないものにした

議員 キャンプ場をつくる目的は、市民の社会教育活動の推進のためか、市外から利用者を呼び込んで経済効果を期待するためか。また、市内にある既存のキャンプ場の充実ではなく栗駒

議員 山麓を選定したのはなぜか。

市長 高まりを見せるキャンプ需要をとらえ滞在型観光と、観光振興を通じた地域経済の発展につなげることを目的とし、ハイルザーム栗駒、山脈ハウス周辺の拠点が多く、観光客に滞在してもらえ、場所と考慮選定した。

議員 市はキャンプ場建設運営にどう関わるのか。経営に参画したり、指定管理

者制度で経営が赤字になった際に補填することはやめ、市は土地を提供し民間事業者に参加してもらうのが最良ではないか。

市長 民間の力を活用した公設民営型で指定管理料の負担がないものにした。

議員 キャンピングカーが大型化しているが、現在の県道、市道で交通に支障はないか。

市長 観光バスのすれ違いに苦慮している現状であり、県道改良の要望を続ける。

議員 栗駒山麓ジオパークについて聞く。認定を受けることによってどんなメリットがあったか、また世界谷地・花山湖・伊豆沼・内沼などをどう連携させていくのか。地すべり地内の見学道路状態が悪いが簡易舗装をすべきでないか。

市長 地域防災力の向上や活性化につながった。道路舗装は宮城北部森林管理署と協議・検討していく。



带状疱疹ワクチン助成時期は

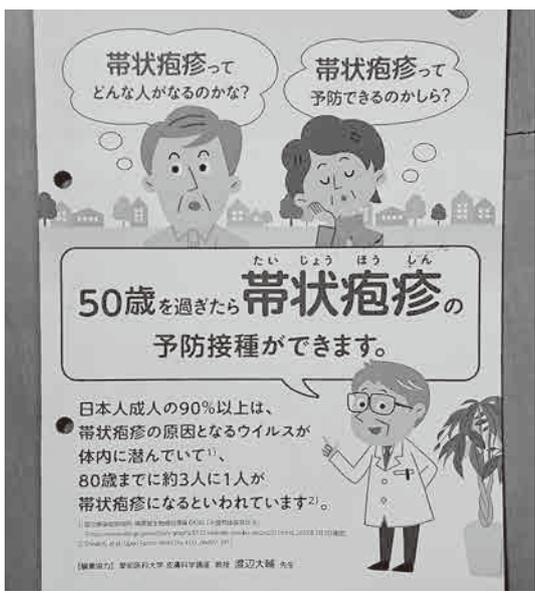
市長／来年4月から接種費用助成



菅原 勇喜 議員

議員 ①市立病院でのワクチン接種状況を把握しているか。②ワクチン接種費用助成の検討はどのように行われているか。③早速の助成実施を求めるがいかがか。

市長 ①令和3年度5人、令和4年度38人、令和5年度は8月31日現在で29人である。②ワクチン接種助成に向けて、国によるワクチン効果、安全性との評価の動向を注視してきた。8月24日には、栗原市医師会から、「高齢者の带状疱疹ワクチン接種費用への助成制度の創設を求める要望書」が提出された。③令和6年4月から、市単独による带状疱疹ワクチン接種費用助成について、内容の検討をしていく。



50歳を過ぎたら予防接種

汚泥肥料 一層の活用を

議員

①衛生センターの汚泥肥料は、令和4年度実績で825トンが農地などへ無料で配達、324トンは焼却したとのことである。焼却の場所、年間焼却回数、重油の使用量、金額、中間再生処分場所、処分料はいくらか。②成分の含有量も明示しており、安心して使える有機肥料である。農家に周知宣伝し、残りの324トン全量、農地に還元してはどうか。

市長

①衛生センター内の焼却施設で行い、焼却回数は令和4年度で、年46回、重油は約6万リットル、費用は583万円である。業者に処理を委託しており、委託料は、37万5375円となっている。②汚泥肥料の安全性を伝えながら全量を農地還元できるよう努めていく。

「栗原創生」は国内外の交流から

市長／観光施策に取り組んでいきたい



みつまた あきら 市長



滞在形の観光に向けた事業

議員 私は平成30年10月、台湾南投市との産業交流事業に参加した。事業の目的は、栗原市内の産業経済団体の人々と栗原の生産物を紹介し、物産交流の「きっかけ」づくりと、国内・海外の観光の推進につなげる互いの交流を活性化させることとしている。

そこで、国内・海外の旅行者の増加を好機と捉え、市の経済効果の目標値を設定した、農・商・工を支援する施策を打ち出した、「栗原創成」を考えるべきではないか。

私は平成30年10月、台湾南投市との産業交流事業に参加した。事業の目的は、栗原市内の産業経済団体の人々と栗原の生産物を紹介し、物産交流の「きっかけ」づくりと、国内・海外の観光の推進につなげる互いの交流を活性化させることとしている。

ないか。

市長 市は、令和4年3月に「栗原市観光振興ビジョン」を策定した。令和8年度までの具体的な数値目標を設定し、観光客の宿泊者数13万人。外国人の宿泊者数13000人としている。令和5年度は、アジア圏からの旅行者をターゲットに、市内の観光資源や観光ルートなどを、外国人観光客に向け、旅行者から評価・アドバイスをもらい、訪問する外国人の旅行者に選ばれる観光地となるよう、観光施策に取り組んでいきたい。

「農泊での」観光戦略は

議員

田園回帰の流れを止めることなく「農泊」を通し、市の魅力を発信すべきではないか。

市長 平成30年、農泊を推進する「栗原市農泊推進協議会」を設立した。栗原で暮らしてきた人々の生業に着目し、付加価値を付けた体験プログラムなど戦略的におこなっており、JR東日本の中吊り広告で情報発信をしている。



おがた かつゆき
尾形 勝通 議員



地域再生、地域活性化施策を問う

市長／「ふるさと再生事業」に取り組む



「栗駒山麓のめぐみ」パンフレット

議員 市長は4月の記者会見で、ふるさと財団の補助事業「地域再生マネージャ―事業」に取り組むと発表した。本事業を遂行する目的と目標は何かを聞く。

市長 外部専門家を招致し、「ふるさと再生事業」として、地域住民が、主体となった地域おこしや、地域資源などを活用したビジネスの創出を目的にしている。特に「栗駒山麓のめぐみ」認定商品を磨き上げ、ふるさと納税の返礼品などを増やして、地域再生に取り組んでいく。

議員 高清水、瀬峰を流れる小山田川水系は、台風や線状降水帯に非常に弱い構造となっている。市は、水害防止策をどのように図っていくのか。また、線状降水帯に対する防災の備えや、防災の行動指針などを聞く。

市長 河川の堆積土砂の撤去は、今年度、高清水の甲牧堀地内の透川で実施中である。被害を最小限に抑え、迅速な回復を図るよう、地域防災計画などを実践し、防災マップの普及活用を推進していく。豪雨時は、避難指示を早め早めに出し「空振り」は良い。見逃しは駄目だ。」これを市長と職員の間で合言葉にして意思統一している。

議員 移住定住政策と農業振興策は、表裏一体と捉えているが、栗原の魅力をさらに高めるため、関係人口のうち農業関連人口を増やす施策と、6次産業化に力を入れた政策を期待するが。

市長 くりはら産地見学バスツアーなど主催する。また、6次化育成塾を開催し、受講者の中から、6次産品が創られ、商品が育っていく。



令和7年から整備の有賀沢排水路

議員 最近の企業は、大規模な工業団地を必要としている。市においても、次期工業団地の整備を進めるべきと思うが、市長の見解を問う。

市長 近年の物価高騰により、造成費も多額におよぶ



かづたか 一孝 議員
にりぬま 濁沼

議員 ことから、財政上のリスクなども考慮しながら、調査・研究を実施していく。

議員 平成17年合併当初の栗原市長は、クラスタ―型のまちづくりを創造していた。今後一極集中ではなく、いくつかに分けたまちづくりを推進してほしいが、市長の見解を問う。

市長 それぞれの地域を、利便性の高い公共交通で結ぶ「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」を、

「くりはら」を目指して

市長／市が目指す都市構造を進める

市が目指す都市構造として進める。

議員 栗原市の人口を増やすには、行政が住宅地の整備をし、市民に低価格で販売することを提案するが、市長の見解を問う。

市長 市の保有する遊休地などを中心に、宅地などの整備を含め、有効活用を検討する。

議員 畜産業は、濃厚飼料の高騰などで大変である。さらなる助成が必要と思うが、市長の見解を問う。

市長 持続可能な畜産経営に向け、栗原市としてどのような支援が可能か検討する。

議員 市道有賀沢線の整備について、受益者から再三その後の事業経過について質問を受ける。必ず実施されたいが、市長の見解を問う。

市長 令和7年度、8年度の2か年で実施するよう検討する。



火葬場料金の均一化を求む

市長／料金ばらつき、協議進める



高橋 将 議員
たかはし すすむ

議員 市内の郷土芸能では次世代への継承に課題が生じている。市の支援が早急に必要であるが、考えを聞く。

教育長 市公式LINEでの情報発信や演舞の記録保存を強化する。現場の意見



火葬場の広域連携を推進すべき

を取り入れ、継承に向けた支援策を検討していく。

議員 市民が近隣自治体の火葬場を越境して利用した際に料金の負担が大きくなる。自治体間で均一化へ向け協議を進め解消を図るべきではないか。

市長 他の自治体利用時は料金が2倍になる場合もあるが、利用者は一律の料金を望むと感ずるため、協議させる。

議員 不妊治療の経済的な

負担があり、特に混合診療における負担が増えている。支援策の導入を求めるがどうか。

市長 結婚年齢の上昇などで不妊治療を求める夫婦が増加。市では「このとり応援事業」で保険診療の自己負担に補助をしているが、多くの人が希望する不妊治療を受ける機会を増やすため、先進医療を含めた支援の見直しを検討する。

議員 有機農業推進に市の具体的目標と実施計画の策定が必要かどうか。

市長 市の有機農業の目標は国と同様に25%になると思われる。県や新みやぎ農業協同組合と連携し、意見交換と協議を重ね、オーガニックビレッジ宣言に向けた目標と計画を年度中に定めたい。

他に以下の質問をおこなった。子ども体験活動への支援制度、社会教育施設などの施設管理について

マイナンバーカードをめぐる問題

市長／資格確認書を発行



佐藤 文男 議員
さとう ふみお



カードリーダーで受け付け

市長 マイナ保険証を保有していないすべての人に対して、申請によらず「資格確認書」の発行・送付を行うこととしている。

議員 保険証に有効期限があるが、来年の秋には現在の保険証が廃止される。市では国民健康保険証が更新される場合の有効期限はどのようになるか。

市長 経過措置として最長1年、引き続き使用できる。また、マイナンバーカードを取得していない人やマイナ保険証としてひも付けしていない人へは、有効期限を5年以内とする「資格確認書」を発行する予定である。

市道姫松金田線 路盤改良を

議員 旧姫松小学校から金田川北地区に通ずる市道姫松金田線は一部道路両側が沈下しており、通行する車は対向車がない時は常に中央をまたいで走行しており安全な走行に支障がある。早期に路盤改良をすべきと思うがどうか。

市長 有利な財源を活用して工法を含め検討する。



※オーガニックビレッジ→有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みを進める市町村のこと。



めざそう！ 投票率と自給率アップ

子どものころ、児童会長・生徒会長は、児童・生徒の投票で決めていました。だから、何となく民主主義は、立候補と選挙をすることだと思っていました。そして、その子ども達が、20歳になると選挙に行くものですから、投票率が高かったのです。しかし、最近の投票率は30〜40%前後です。この投票率で、首長や議会議員が選出されているのです。これで本当に民主主義と言えるのでしょうか。

また、この投票率より低いのは、食料自給率の23%です。今の農業従事者は、私のような高齢者が多く、このままでは、今後ますます食料自給率が下がります。皆さん、「めざそう！投票率と自給率アップは栗原から」を進めて行きましょう。



ただよし 忠義さん
（鶯沢）
ことう 後藤

私もひとこと



こんどう 富士子さん
（金成）

栗原市へ望むこと

皆さんは、栗原市が以前住みたい田舎のベストランキングで東北総合1位に選ばれたことがあることを知っていましたか？移住定住の推進に積極的な市町村を対象に選り、医療や子育て自然環境、そして就労支援や、移住者などを含む項目で選ばれたそうです。今年は、栗駒の山車祭りも盛大に開催され、夜市も大勢の人で賑わいました。私も、祭りの日には、夜店の販売に参加して、地域の人と交流もでき、皆さんから、沢山の元気パワーをいただきました。今後も、福祉の仕事をしながら、地域が持つ魅力を最大限に活用し上手に発信するお手伝いができればと考えています。皆さんのやりたいこと、やれることを応援してくれる栗原であることを望んでいます。

あとかき

新型コロナウイルス感染症の位置づけが、2類相当から5類になり、半年が過ぎました。イベントが再び開催され、嬉しく思う反面新たな常識が形成され、地区の行事においてもこれまでのやり方とは違う仕掛けが求められます。

議会においても変わりゆく世の中に適応し、市民の声に耳を傾け新しいアイデアを発信する場でありたいと考えます。変化は新たな可能性をもたらします。市政を共に考えていきたいと思います。

発行責任者 菅原 麻紀

議長 高橋 渉

広報編集調査特別委員会 委員長 三塚 東

副委員長 菅原 麻紀

委員 佐々木 嘉一郎

委員 小野 久一郎

委員 菊地 広志

委員 高橋 勝男

委員 佐藤 悟

委員 三浦 善浩

委員 菅原 勇喜